

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 25 日現在

機関番号：41103

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008 ～ 2010

課題番号：20520590

研究課題名（和文） 近代東北の西洋文化受容と国際交流-津軽のメソジスト派宣教活動を中心-

研究課題名（英文） A study of the acceptance of Western Culture in the early Meiji Era in Tsugaru.

研究代表者 北原かな子（KITAHARA KANAKO）  
青森中央短期大学・教授

研究者番号：80405943

## 研究成果の概要（和文）：

本研究は、日本の近代化の過程において、東北地方がどのように西洋文化と向き合ったのかという問題を、宣教師の活動を中心に考察していこうとするものである。本研究期間においては、プロテスタント、メソジスト派マイクロフィルムの宣教師文書調査解読、及び本研究に於いて中心的研究対象であった宣教師ジョン・イングの出身地を中心とする現地調査を行った。その結果、これまで知られていなかったイング晩年の様子など、その人物像を描く史料を発掘した。また明治初期に津軽地方からアメリカに留学した人物たちの活動歴や彼らが残した一次史料を掘り起こすことができた。これにより、明治初期の津軽地方を中心とした、東北の西洋文化受容及び国際交流の様相をより明らかにできたと考えている。

## 研究成果の概要（英文）：

This study focused on how Western learning was accepted in the Tohoku region in the process of modernization in Japan by using the records of the Methodist missionaries' activities. In this term of Grand-in-Aid for Scientific Research(C), the author has conducted research of the microfilm records of the Methodist church and the materials stored in some Archives in the USA. By investigating the archives in DePauw University and the field survey centering on the hometown of missionary John Ing in the Illinois States, the author found new materials and information on John Ing and his family, and the Japanese foreign students who studied in the USA from Tsugaru with the assistance of John Ing. These materials can depict the new aspects of the acceptance of western culture in the Tohoku region in the early Meiji era.

## 交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
20 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
21 年度	600,000	180,000	780,000
22 年度	700,000	210,000	910,000
年度			

年度			
総計	2,300,000	690,000	2,990,000

研究分野： 人文学

科研費の分科・細目： 史学・日本史

キーワード：

### 1. 研究開始当初の背景

本研究は、近代東北地方での宣教師の活動に注目し、特に文明開化期津軽地方におけるキリスト教メソジスト派宣教活動の影響を、同地に滞在したアメリカ人宣教師の出身地との関わりも含め、日米双方の視点から考察しようとしたものである。

近年、東北をめぐる諸研究がさかんに行われている。日本の多様な文化像の一つとして「東北学」を提唱した民俗学の赤坂憲雄氏や、戊辰戦争以後の中央集権体制確立期の中で東北が「辺境」として位置づけられていった過程を問い直そうとする河西英通氏の研究などはよく知られている。こうした状況の中で、東北地方各地に明治初期から滞在したキリスト教宣教師の活動を、地域の近代化へのニーズとの関わりの中で考察することにより、西洋文化受容の側面から東北の近代化を検証していきたいと考え、本研究テーマを立案した。こうした視点からの研究は、それほど多くないからである。

上記の問題意識により、これまで津軽地方を中心として研究を進めた。同地方では明治の早い時期から旧弘前藩学校の後身である東奥義塾に外国人教師としてアメリカ人宣教師を招聘し、さまざまな分野で西洋文化の影響を受けている。そこで、このアメリカ人宣教師の動向について、日本側の資料を掘り起こすと共に、アメリカ各地の資料館と連絡を取ることで在米英文資料も入手し、津軽での宣教師たちの活動状況や、その背景にあった地域社会の近代化への志向性との関わりについて

考察してきた。

### 2. 研究の目的

以上の背景により、本科研交付期間に於いては、次の点を具体的目的とした。

- ①宣教師ジョン・イングの人物像研究
- ②明治期津軽地方からの米国留学生の研究、
- ③東北各地で活動した宣教師関係資料の研究

### 3. 研究の方法

#### ① 宣教師ジョン・イングの人物像研究

ジョン・イングは津軽地方に初めて西洋リンゴを導入したという説があるほど、この地方に影響を残したが、そのわりに彼自身の人物像はほとんど知られていなかった人物である。インディアナ州及び出身地イリノイ州ベントンなどの現地調査により、人物像を描く資料を収集する。

#### ② 明治期津軽地方からの米国留学生の研究

津軽地方からのアメリカ留学は、明治10（1877）年にイングの手配でインディアナ・アズベリー大学に入学した五人をその嚆矢とする。この留学生達はきわめて優秀な成績を上げ、現在もデポー大学史にその名を残している。本研究期間に於いても現地調査を中心として進めた。また、津軽地方からの第二次留学生たちの調査も合わせて行った。研究調査を行っ

た場所は、主としてインディアナ州グリーンキャッスルのデポー大学である。

### ③ 東北各地で活動した宣教師関係資料の研究

メソジスト派宣教師文書のマイクロフィルムを DVD に変換して、東北各地での宣教師活動について項目整理を行った。

## 4. 研究成果

本研究期間においては、渡米調査が一定の成果をあげたと考えている。アメリカ、インディアナ州グリーンキャッスルのデポー大学の Roy. O. West Library, Archives & Special Collection において、宣教師ジョン・イング、および彼の教え子で同大学に明治期留学していた学生たちについての資料調査を行い、調査対象人物たちが所属していた Literary Society である Platonian Society および、Philological Society の活動記録のうち、1860 年代から 1880 年代にかけての一次史料の掘り起こしにより、彼らの活動状況を描く手がかりを得た。同時に調査対象人物達が所属した Fraternity である、Delta Kappa Epsilon Psi Phi Chapter の資料調査も行い、直筆の一次史料を多数見いだすことができた。

その他、ジョン・イングが晩年を過ごしたイリノイ州ベントンでも調査を行い、1918 年の地図からイングが最晩年を過ごした農場の場所を特定すると共に、インタビューも行った。特に、これまでその所在が不明であったイングの直系子孫及びイングの関係者たちを探し出すことができたのは、イングの人物像研究を進める上で成果となった。これらの成果は今後、イングの評伝を中心とした形でまとめていきたいと考えている。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

北原かな子「アメリカ中西部に残る明治初期津軽との交流の軌跡-デポー大学及びイリノイ州ベントン調査報告-『陸羯南会誌』No. 1, 2011

[学会発表] (計 1 件)

北原かな子: "明治 9 年天皇奥羽巡幸と東奥義塾生天覧授業-宣教師による文化伝達の一例として-" 国際日本文化研究センター共同研究会. (20091113). 神戸ルーテル神学校

[図書] (計 3 件)

北原かな子(共編訳書): "ハンナ・ジョイ・サワダ、北原かな子編訳『日本語と英語で読む津軽学入門』" 弘前大学出版会, 2008.

長谷川成一監修『弘前城築城四百年—城・町・人の歴史万華鏡』(共著) 清文堂出版、2011。

「留学生とお雇い外国人」 荒野泰典・村井章介・石井正敏編『近代化する日本』(単著) 吉川弘文館、2012

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計◇件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

北原かな子（KITAHARA KANAKO）  
青森中央短期大学・教授  
研究者番号：8040594

研究者番号：

(2) 研究分担者

（ ）

研究者番号：

(3) 連携研究者

（ ）

研究者番号：